

閃光

発行元

ビジネス教育訓練所株式会社

令和七年七月号

Business

「コメ問題で考える、食と農の未来」

昨年の「令和のコメ騒動」から、米の価格はおよそ二倍以上に上昇し、いまだに高値が続いています。こうした状況を受け、ついに政府が備蓄米の放出に踏み切り、随意契約による販売が全国で始まっています。

背景には、猛暑や少雨による不作があり、特に東北や北海道などの主要産地では品質低下も見られ、出荷量が減少し、市場では供給が逼迫する事態となりました。また、政府の減反政策の転換後、主食用米の生産を控える動きが広がったことも、価格高騰に拍車をかけた要因です。

宮城県の方々は「収量は減ったが、肥料や燃料等のコストは上がるばかり。米が高値で売れても、すぐに利益につながるわけではない」と語っていました。米価上昇のニュースの裏で、農家が「儲かっている」という印象を持たれる方もいるかもしれませんが、実態はそれとは異なるようです。生産現場では高齢化や人手不足に直面し、経営を続けることすら難しい地域もあります。

一方、米の消費は長期的に見ると減少傾向にあり、特に若い世代を中心に「コメ離れ」が進んでいます。収益が上がらなければ農業の担い手が増えるはずも無く、私たち消費者も「安ければよい」という価値観を見直す時期に来ているのではないのでしょうか。輸入に頼らず国内でほぼ自給できる数少ない作物である米。その安定供給を維持することは、気候変動や国際情勢の不安定な今、日本の「食の安全保障」という観点から極めて重要です。

コスト上昇に見合った適正な価格で取引がなされる仕組みや、小規模農家の再編や新規参入を支援する環境整備、スマート農業の普及等、生産者が将来に希望を持てるような農政が求められます。そして私たち消費者も、米を「当たり前にあるもの」としてではなく、改めて一粒一粒に感謝しながらいただくこと、残さず食べること、生産の苦勞を知ること、そしてなるべく地産地消を心がけて地域の農家を支えることが、これからの時代によります大切なことになってくるのではないのでしょうか。

ビジネス教育訓練所株式会社
代表取締役 高谷 愛美

日々是精進

講師の独り言

講師
吉田 習二

「コーチングに学ぶ～自己基盤を整えると世界の見え方が変わる」

今年から、コーチングスキルの向上を目的に、毎週クラスを受講しています。コーチングとは、対話を通じて相手の目標達成や自己成長を支援するコミュニケーション手法です。学びを深める中で、物事の捉え方が以前よりも前向きになってきたと感じています。

コーチングの世界には「コーチング・ピラミッド」という考え方があります。これは4つの階層で構成され、下から「自己基盤」「コーチングマインド」「信頼関係」「スキル」と積み上がっていきます。上にいくほど目に見えやすい技術や関係性ですが、それを支える土台である「自己基盤」が最も重要とされています。自己基盤とは、自身の目標達成に関する経験や深い自己理解を指します。自分の価値観

や感情をしっかりと認識し、自分自身を肯定的に捉え、必要に応じてそれを他者に開示できることが求められます。コーチ自身が安定していなければ、他者との健全な関係性は築けない…これが、自己基盤が重要とされる理由です。

私自身、自己基盤はある程度できていると思っていましたが、様々なコーチとセッションを重ねる中で、それが自己満足だったことに気づかされました。もし「自分はこれでいい」と思った瞬間から成長が止まるのだとしたら、今私は古い価値観や固定観念を少しずつ削ぎ落としている最中です。

コーチの問いかけが深く自分に響くと、思わず「そうか!」と膝を打つような気づきがありますが、その瞬間、

自分でも驚くほど表情が明るくなり、セッション後には「まだまだやれる」という前向きな感覚が湧いてきます。それは、答えを出すのがコーチではなく、自分自身だからです。自分の中に眠っていた思いや価値観に気づくことで、自己理解が深まり、自分を認める力（自己肯定感）が高まります。

最近は、自己肯定感が低いと感じている人も多いと聞きます。だからこそ、そういった方にコーチングを体験してほしいと思います。また、人を育て導く立場にある管理職の方にも、ぜひコーチングの学びをおすすめします。部下との関わり方だけでなく、人を動かすための原理原則に気づくきっかけとなるはずです。私もそのお手伝いができれば幸いです。



ブラック企業・ホワイト企業という言葉が広く認知されるようになって久しくなりますが、近年ではその中間に位置する「パープル企業（別名：ゆるブラック企業）」という言葉も注目されるようになっていきます。

■パープル企業の特徴

1. 残業が少なく定時退社が可能
2. ノルマやプレッシャーが少なく、人間関係も良好
3. ハラスメントが無い
4. 新しいアイデアやチャレンジを推奨しない
5. 業務はルーティンワーク中心

■パープル企業のメリット

1. 残業や休日出勤が無く働きやすい
2. ストレスの少ない仕事内容
3. 職場の雰囲気が良い

■パープル企業のデメリット

1. 給料がなかなか上がらない
2. 業務にやりがいを感じにくい
3. スキルアップやキャリアアップの機会が少ない

こうした企業が増加している背景には、働き方改革の影響だけでなく、若手社員の気質の変化も大きく関係していると考えられます。しかし、いくら働きやすい環境であっても、個々の成長実感ややりがいが乏しければ、やがて離職につながる可能性もあります。そこで、以下の2点を人材育成の観点から重視すべきポイントとしてご紹介します。

① 社員の成長にコミットする

会社のビジョンに基づいた目標を明確に設定し、上司と部下が定期的にプロセスを振り返る仕組み

をつくります。個人の成長を「見える化」することでモチベーションを高めることもできます。

② 個人の価値観を理解し、やりがいを追求する

管理職は社員一人ひとりの価値観を理解し、それぞれのやりがいを感じられるポイントを把握し、個別に支援すると良いでしょう。

これらを効果的に進めるためには、キャリアプランの作成や1on1ミーティングの導入が不可欠です。弊社では、GROWモデルを活用したキャリア形成支援や、1on1ミーティングの進め方、働きがいをテーマとした研修も行っております。気軽にお問い合わせ頂ければと思います。会社、個人ともに幸せになれる組織をつくっていきましょう。（佐藤）



オススメ図書コーナー

『世界の一流は 「休日」に何をしているのか』

著：高橋 浩一

日本人の約8割が「常に疲れている」と感じている現代。求められるのは“働き方改革”だけでなく、“休み方改革”です。本書では、著者が世界のハイパフォーマーを取材し、彼らが休日にどのように心と体を整え、パフォーマンスを最大化しているのかを紹介しています。運動や読書、没頭できる趣味、あえて「何もしない時間」など、一流たちの工夫は意外性に富み、すぐ実践できるものも多くあります。単なる休養ではなく、「戦略的な休み方」が、平日の集中力・創造力に直結するというメッセージは、忙しい現代人にとって極めて実用的です。成果を出し続ける自分をつくるために、休み方を見直してみませんか。（鈴木）



研修プログラム紹介コーナー

「レジリエンス」

ストレスやプレッシャーの中でも心が折れず、前を向いて行動を続ける力が「レジリエンス（回復力・しなやかさ）」です。本研修では、心理学に基づいた理論と、職場や日常ですぐに実践できるワークを通じて、感情のコント

ロールやストレスへの向き合い方を学びます。自分の考え方のクセや感情の傾向に気づき、内省を深める構成です。新入社員から中堅社員まで幅広い層に対応可能。社員一人ひとりの心の土台を育てたい企業様におすすめです。（鈴木）

■今年の研修日程※参加希望の方は事前にお問合せ下さい。

- ビジネス特訓4日間合宿… 9月 9日（火）～ 9月12日（金）延長あり
- 管理者特訓6日間合宿 … 9月 9日（火）～ 9月14日（日）延長あり
- 営業マン特訓5日間合宿… 10月 3日（金）～10月 7日（火）延長あり
- 管理者実践4日間合宿 … 10月21日（火）～10月24日（金）延長なし
- 営業マン実践3日間合宿… 10月21日（火）～10月23日（木）延長なし
- 管理者実践4日間合宿 … 12月16日（火）～12月19日（金）延長なし

■編集後記／マイぬか床を作りました。作ろうと思って驚いたのが、その材料の多さ。生ぬか、塩、水、大豆、昆布、赤唐辛子、生姜、ニンニク、かつお節、山椒の実等。そして、美味しいぬか漬を作るためには、毎日ぬか床をかき混ぜないといけない。手間は掛かりますが、それだけに愛着も湧いてきます。人材育成も一緒に手間が掛かりますが、手間を掛けただけ、成長が楽しみになります。喜ばれる人材、喜ばれるぬか漬をつくっていききたいものです。（吉田）



社員教育・管理者教育の事なら
ビジネス教育訓練所株式会社

〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央3-16-2
TEL:022-392-5511 FAX:022-392-5039
E-mail:kensyu@business-k.co.jp
スタッフブログは右のQRコードからどうぞ！▶

